

木賀公園の公園再整備と南部学校給食センター等の跡地活用に関する サウンディング型市場調査の結果について

江南市が再整備・活用を検討している木賀公園、南部学校給食センターの跡地について、活用アイデアや民間事業者から見たポテンシャル等について意見交換を行うため、サウンディング型市場調査を実施しました。

1 スケジュール

日時	内容
令和6年11月15日(金)	実施要領等の公表
令和6年11月15日(金)～令和6年12月13日(金)	参加申込受付
令和6年12月17日(火)、19日(木)、20日(金)	対話の実施

2 参加事業者

3社

3 対話の概要

◆ A社

1 活用アイデア
<p>■木賀公園（東側青木川周辺）</p> <ul style="list-style-type: none">・透水性コンクリート舗装、雨水貯留浸透設備の整備による水害に強い公園。 （雨水貯留浸透設備で貯留した水（中水）は、災害時の生活雑用水として利用）・プール跡地の給排水設備と透水コンクリート舗装を活用し、子どもが水遊びできる親水公園。（ライトアップで集客の可能性も高まる）・透水コンクリート舗装、雑草抑制型芝草の活用でメンテナンスにかかる時間、費用の抑制。 <p>■学校給食センター跡地</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史に合わせた献立の提供で、懐かしい給食が食べられる給食センター食堂施設。（江南市の給食歴史展示も含めた食堂施設） （木賀公園内に給食センター食堂施設で購入した食材でのBBQ利用も可能とするエリアの設置）・食材やBBQ道具は災害時に指定避難場所の木賀公園で活用。 （災害時用のストックヤード）

2 立地のポテンシャル・課題

■木賀公園

- ・プール跡地の給排水設備の活用が可能。

■学校給食センター跡地

- ・南部学校給食センターの1980年からの献立の実績をそのままに学校給食が食べられる施設。
- ・学校給食センターの施設の性質上、給排水、ガス等様々な設備がある。

◆B社

1 活用アイデア

■木賀公園

- ・地域の特産品や史跡、ゆるキャラなどをモチーフにしたオリジナル大型遊具を設置。(シンボルにもなり、地元子ども達に郷土愛を深めてもらうと共に、市外からの子育て層の誘引も可能)
- ・暑さ寒さ対策で箱物を整備した全天候型に対応した公園が実現できると強みになる。(遊具の耐久性も上がる)
- ・公園遊具には3歳未満児用、幼児(3～6歳)用、児童(6～12歳)用、インクルーシブ遊具等があるが、すべての種類の遊具を設置したフルスペックの公園の需要が高い。
- ・PFIを活用する場合は、公園を有料化する場合もある。
- ・公園運営において、継続的なイベントでの活用も考えると魅力ある公園になる。(イベントのターゲットによっては、集客・収益も見込める)

■学校給食センターの跡地

特になし

2 立地のポテンシャル・課題

■木賀公園

特になし

■学校給食センター跡地

特になし

◆C社

1 活用アイデア

■木賀公園

- ・「健康づくり」をテーマに屋外フィットネスマシンを設置した公園。
- ・環境に配慮したミスト付き遊具の設置。
- ・夏は水遊び、冬は水を抜いて遊具として使用できる通年型ウォーターパーク設置。
- ・全国初の一年中楽しめるグランピング場。

■学校給食センターの跡地

特になし

2 立地のポテンシャル・課題

■木賀公園

- ・観光等の人の流れとして犬山から岐阜（高山等）の賑わいがあるので、中間地の江南はポテンシャルがあると考えている。
- ・プール跡地を活用して、ウォーターパークを設置する際の設備費用を抑えることが可能かもしれない。

■学校給食センター跡地

特になし